



2024年2月

東京出入国在留管理局
研修・短期滞在審査部門 御中

ドイツ学術交流会東京事務所
プログラムマネージャー
兼 リレーションシップマネージャー
堀田 清文

ドイツ政府国費奨学金プログラム「SP Japan（日本語学習と企業内研修）」
第40期奨学生在留資格変更理由に係る件

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、弊所および当プログラムに格別のご高配を賜り御礼を申し上げます。

此度、弊所にて担当する当該ドイツ政府国費奨学生が、在留資格変更許可申請を貴局に願ひ出るに当たりまして、書面にて甚だ恐縮には存じますが、その事由について下記の通りご説明申し上げます。

ドイツ学術交流会（DAAD）は、1925年に設立されたドイツの大学が共同で設置する機関で、主にドイツ連邦共和国の公的拠出金を財源基盤として運営されており、奨学金制度を持つ機関として世界最大の組織です。東京事務所は1978年に開設され、長きに渡り日独両国の学術交流の主翼を担ってまいりました。

本奨学金プログラム「SP Japan（日本語学習と企業内研修）」（ドイツ語：Sprache und Praxis in Japan Programm）は、ドイツ学術交流会が1984年以来ドイツ連邦教育研究省（BMBF）の資金により運営しているプログラムです。学士課程修了以上の優秀な若手ドイツ人を対象とし、将来、経済・行政・産業界等それぞれの専門分野において、日本とドイツの懸け橋として活躍できる人材の育成を目的としております。第40期は、日本語学校にて日本語を学習する期間（2023年10月から2024年6月の9か月間）と、企業等での研修期間（2024年7月から12月の6か月間）から構成されています。本奨学生はプログラムを通じて、ビジネスの場で必要となる高度な日本語運用能力を習得するばかりではなく、実践的な経験を通して、これまで大学等にて学んできた専攻の学術上の見識を更に高め、かつ、日本への理解も深めてまいります。

斯様なことから、当該奨学生は、2024年6月末に学校法人長沼スクール東京日本語学校での日本語学習が終了した後、当該ドイツ政府国費奨学金プログラムの一環として、奨学生本人の学術上の成果をより高めていくため、2024年7月から2024年12月末まで6か月間、企業等において無報酬による研修を実施致します。この企業内研修のために、今般、現在有している留学ビザから文化活動ビザへの在留資格変更許可申請を、奨学生本人より願ひ出る次第に存じます。

本プログラムに関するご質問は、担当致しておりますドイツ学術交流会東京事務所の堀田清文までご連絡下さい。

- 電話番号：03-3582-5962
- FAX: 03-3582-5554
- E-Mail: horita@daadjp.com

上記の申請事由へのご理解を賜り、本変更につき何卒お取り計らい頂きますよう、ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所からも、衷心より願ひ申し上げる次第に存じます。

敬具